

環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事説明会
〔議事要旨〕

1. 開催概要

日時：平成29年 4月23日（日） 午後2時00分～午後3時30分

場所：練馬区立豊玉南小学校 4階ランチルーム

2. 説明内容

1) 事業の概要

2) 工事の概要

3. 主なご質問・ご意見と都の回答（要旨）

質問1 家屋調査の範囲について、根拠を教えてください。

回答1 東京都環境調査要領に基づき、概ね30mを基本としている。ただし、今回の工事はダンプトラックの通行台数が非常に多いため、ダンプトラックが通行する道路に接している箇所も家屋調査の範囲としている。

質問2 家屋調査の結果、ブロック塀などが老朽化している場合、事前に補強等を行うのか。

回答2 ご要望があれば現状を確認の上、必要であれば仮の補強等をさせていただく。

質問3 スクールゾーンの時間外の安全対策はどのように考えているのか。

回答3 学校と協議を行い、安全対策を含め検討を進めていく。下校の時間帯については、ガードマンの増員などを検討する。

質問4 工事車両の1日の台数や時間的な間隔について、具体的に教えてください。

回答4 中間立坑施工時は、土砂を搬出する10トンダンプトラックが1日8時から17時までの間に10台程度、月に1度のコンクリート打設時は10トンミキサー車が1日に120台程度、平均すると時間20台程度である。シールドトンネル施工時は、土砂搬出用の10トンダンプトラックが1日に370台程度、平均すると1分半に1台となる。ただし、実際は4箇所ダンプトラックに土砂を積み込むため、4台のダンプトラックがまとまって5、6分の間隔で入ってくることとなる。また、資材搬入のために、25トントレーラーが1日50台程度の出入りがある。

質問5 防音ハウスの高さの根拠について、教えてください。

回答5 防音ハウスは、2階建てになっており、シールド掘進に必要な土砂をふるい分ける設備や水槽を収納している。構造上、高さは18mとなる。

質問6 現場事務所と作業員詰所について、中間立坑施工時には設置するようですが、シールドトンネル施工時には設置しないのか。

回答6 シールドトンネル施工時は、防音ハウス内に現場事務所と作業員詰所を設置する。

質問7 現場周辺の照明設備を設置する予定があるか。

回答7 予定はない。ただし、防音壁ができて、周辺が暗くなる場合、地域の皆さまのご意見をいただきながら防犯対策として照明を設置することがある。

質問8 工事車両の通行に伴い、土や砂利によって道路が汚れないか。

回答8 作業ヤード内で工事車両のタイヤを洗浄する。もしも、工事車両が道路を汚した場合は、清掃を行う。

質問9 工事車両の滞留対策をするのか。

回答9 あらかじめ、妙正寺川立坑にダンプトラックを待機させ、中間立坑の施工に合わせて発進させることで、路線上にダンプトラックが滞留しないように車両を管理する。

質問10 夜間作業における騒音や振動はどれくらいか。

回答10 環境基準値を目標に防音ハウス、防音壁の設置を計画している。現在出ている騒音を超えないよう管理していく。

質問11 粉じんは大量に発生するか。

回答11 防音ハウス内にて土砂の積込みを行うため、粉じんの発生は抑えられると考えている。

質問12 家屋調査について、賃貸家屋に住んでいる場合、居住者が個別に対応するのか。

回答12 賃貸の物件については、まず所有者へ連絡をさせていただく。その後、居住者の方へ連絡が入り、日程調整の後、家屋調査となると思う。

質問13 平成32年1月からシールドトンネルを掘削するための施設をつくるのか。

回答13 平成32年1月から施設をつくりだし、平成33年3月ごろからシールドトンネルの掘進をはじめの予定である。

質問14 工事車両が出入りするルートについて、時期的な変化を教えてください。

回答14 施工ヤード南側の道路のみを使用する期間は平成29年5月からである。施工ヤード北側の道路を使うようになるのは、シールドトンネル工事が始まる平成33年3月ごろからの予定である。

意見1 工事車両が幅員の狭いスクールゾーンを通行するため、くれぐれも注意してほしい。

意見2 工事が長期間にわたるため、事故やトラブルがないように注意してほしい。

意見3 校区外へ通学している生徒がいるため、周辺学校への工事説明を行ってほしい。